



60 数年前、庄司栄吉がセレベスで戦火をくぐり描いたスケッチ画



一枚の人物画から始まり、日本の敗戦で終わる庄司栄吉のメモリーズ・オブ・セレベス。それを訪ねる旅は、戦時中、日本と日本人がセレベスに遺してきたものを見つめる旅であり、過去から未来へのメッセージを受け取る旅であった。

メモリーズ オブ セレベス

洋画家・庄司栄吉の太平洋戦争

日本と日本人がセレベスに遺してきたものとは？
60年目にしてはじめて知る真実とは？



企画・制作：中津雅美、中津義人 / 監督：中津義人 / 撮影：川田秀明 / 音楽：吉田哲、蟠龍寺スタジオ / 語り：高塚玄
現地通訳：マキシ・コジョン / 翻訳：タウン・ロスナエニ、吉田好美、吉田朋子 / 撮影協力：テマス・プリマカーテ、
ハルディナス・サネバ、リンカン・バレンクアン、(株)ウイード / 資料映像：東京放送 / 協力：国立国会図書館、
世田谷区立世田谷美術館、カリタス・トモホン中学高等学校、安田重雄、安田加津子 / 制作：オフィススリーウェイ
日本音楽著作権協会 V-0700804 / 2007年 / ドキュメンタリー / カラー / 76分